

林農林水産大臣のベトナム、インドネシア出張概要について  
平成25年5月  
農林水産省

林農林水産大臣は、5月3日（金曜日）から7日（火曜日）の日程で、日本産農林水産物の輸出促進や貿易交渉に関する関係要人との意見交換等のため、ベトナムとインドネシアに出張しました。

## 1 日程

### (1) ベトナム（5月4日（土曜日））

- ・ファット農業・農村開発大臣との会談
- ・日本食品販売店の視察
- ・カイン商工副大臣との会談

### (2) インドネシア（5月5日（日曜日）～6日（月曜日））

- ・日本産食品輸出関係者との意見交換
- ・ススウォノ農業大臣との会談
- ・日本食品販売店の視察

## 2 会談の概要

### (1) ファット・ベトナム農業・農村開発大臣（4日）

#### ①輸出促進

我が国食品関連産業の進出円滑化に向けた官民意見交換の場の設置につき合意し、事務レベルで作業を進めることで一致。また、輸出の際の検疫制度や、原発事故を受けた放射性物質規制の緩和等の課題について要請。

#### ②貿易交渉

TPP について、先方から、日本の参加に対し歓迎の意が述べられ、当方より、交渉参加に向けた準備とし

て、交渉の状況に関する情報提供などの協力を要請。

また、RCEP についても引き続き地域の発展に向け共に貢献していくことを確認。

③その他

農業分野における協力と交流の更なる推進の必要性を確認する議事録に署名。

(2) カイン・ベトナム商工副大臣 (4日)

①輸出促進

我が国食品関連産業の進出円滑化に向けた官民意見交換の場への参加につき合意、事務レベルで作業を進めることで一致。

②貿易交渉

TPP について先方から、日本の参加に対し歓迎の意が述べられ、当方より、交渉参加に向けた準備として、交渉の状況に関する情報提供などの協力を要請。

(3) 日本産食品輸出関係者との意見交換 (5日)

日本食品を取り扱う輸入・小売業関係者と、日本食品の輸出促進を巡る諸課題につき意見交換。

(4) ススウォノ・インドネシア農業大臣 (6日)

①輸出促進

我が国食品関連産業の進出円滑化に向けた官民意見交換の場の設置につき意見交換し、農業も含めた包括的な協力の枠組みについて今後事務レベルで検討を進めることで一致。原発事故を受けた放射性物質規制の緩和等、輸出や投資の際の諸課題について要請。

②食料安全保障等

食料自給率の向上などの食料安全保障や両国の農業政策、農業協力などについて意見交換。